

歓喜惠

一えいしけい一

平成24年(2012)

4月1日 NO.48

日本ヘレンケラー財団

<http://www.helenkeller.jp>

歓
知
恵

ヘレンケラーさんのイニシャル文字「H.K」の象徴です。

『歓知』は、深遠な道理を悟る才知とすぐれた知性を言い、『恵』とは、天地のいくしみです。

『歓知恵』とは、森羅万象の情けと、人間の知性の融合という意味であります。

この度、日本ヘレンケラー財団 救護施設平和寮 看護師 岡本 厚子氏が、長年にわたる社会福祉に対する貢献が認められ、瑞宝双光章を受章されましたことを、ここに御報告申し上げます。

瑞宝双光章



平成23年11月3日受章
同7日大阪府知事より伝達
同15日、皇居で挙式



2011/11/15



～瑞宝双光章受章の御礼～

岡本 厚子

平成23年11月15日、名誉ある瑞宝双光章を頂く事が出来ました。私は昭和42年3月に故 山本理事長の面接を受け、縁あって救護施設平和寮に就職させて頂き、現在に至っております。今回の受章を受け、長年頑張ってきて、本当に良かったと思っています。

先日、私が就職する前から入所されていた方が、今年に入りお亡くなりになられました。40年以上の長いお付き合いの中で、職員とご利用者の関係ではありましたが、家族同然のように思い、接してきただけに、この瑞宝双光章と共に年月の流れをあらためて思う出来事となりました。そして、この章を頂けましたのは、皆様方の大きな支えがあったからだと感謝しております。ありがとうございました。

【特集】～非常時の支援対策～

「備えあれば憂いなし」は、防災対策や避難訓練では大切な指針です。いろいろな状況を想定した訓練を実施することにより、より確かな備えがつくられます。今回はその取組をご紹介いたします。

法人の防災マニュアルについて

救護施設平和寮

昨年は、三月十一日の東日本大震災に始まり、台風十二号の集中豪雨による被害等、自然災害が例年になく多く発生した一年でした。

震災発生前、法人各施設では、火災中心の消防計画を策定し、定期的な避難訓練を行なつきました。しかし、震災発生後は、これに加え、巨大地震や津波・台風による水害等の自然災害への対応を検討し、手順・方法を法人全体で統一した対策を講ずる必要性を実感することとなりました。そこで、自然災害発生時において、少しでも早くサービスを再開出来る事を目的とした、法人全体の防災マニュアルの作成を開始しました。

マニュアルの作成は、各施設の主任級が集まる、法人幹部会にて行われ、検討が進められました。作成を開始した昨年四月の段階では、まず各施設の防災対策の確認を行いました。

二回目の六月の会議では、災害発生時の法人本部への連絡体制、被害状況における各施設間のサ

ポート体制について話し合いを行いました。その際、大災害時の通信状況を考えると、大阪府内を南北に広く広がる各施設の情報をどのように集約するか検討が加えられました。その結果、各施設をエリア毎に三つにブロック分けを行い、各ブロックの中心施設に情報を集約し、まとめて本部へ発信するよう体制を整えました。

また、並行して、各施設の食料備蓄状況や災害時に活用できる備品のリスト化を行いました。これは、災害時の被害状況に応じ、本部の指示のもと、物資が迅速に

融通出来るようにまとめたものであります。このリスト中の物資に関しては、災害時以外でも容易に貸借出来るよう書式も同時に作成致しました。

防災対策は、各施設の立地や利用者特性などにより異なる部分もあります。そのため、各施設が実情に応じた防災計画を策定し、このマニュアルとうまく連動する様な体制を整え、実施していくことが重要です。その事が、利用者の命を守り、被害を最小限に食い止め、早期のサービス再開つながるものと判断し、法人全体で取組みを進めていきます。

まだまだマニュアルの改善など図つていく必要がありますが、その

都度職員の動きが統一されたものになるよう訓練を繰り返し行い、震災時にパニックにならないようにしていきたいです。また、隣の同法人施設、町会との連携も強化していくこうと考えています。

まだまだマニュアルの改善など図つていく必要がありますが、その都度職員の動きが統一されたものになるよう訓練を繰り返し行い、震災時にパニックにならないようにしていきたいです。また、隣の同法人施設、町会との連携も強化していくこうと考えています。

月二回の避難訓練

濱原 賢次

福祉型障害児入所施設平和寮

東北の大地震から一年が経過しました。あの震災から児童寮でも、防災について深く考える事が多くなりました。



松谷 官詩

防災について

I.L.伯太

昨年の二月に災害を想定した避難訓練と備蓄食の調理を実際に行いました。その報告をしたいと思います。

備蓄を考える際には水道・電気・ガスのライフラインが使用できなくなつたと想定し、食料の備蓄をしなければいけません。基本的な事として、ライフラインの復旧や救援物資が届くまでには三日かかるとされています。三日分の食料と水を備蓄しないといけません。

実施状況としてまず備蓄食の置き場所は掲示されていましたが、周知されていなかつた為、置き場所の確認に時間を要しました。建物が使用できなくなつた場合を想定し屋外での訓練になりました。調理に入る前に、机や力セットコンロ、鍋などの準備物が多くセッティングに時間が掛かりました。まとめて保管出来ているとスムーズにセッティング出来ると思います。災害が起きてても、職員が状況に応じて対応出来るようになります。

今年度も三月に備蓄食を屋外で調理する訓練を実施しました。今回は前回の経験を生かしてスムーズに調理出来るよう備蓄食以外に机、カセットコンロ鍋等もあらかじめ準備しやすいうように保管して手早く調理に取り掛かるようしました。

ここまで防災訓練について報告しましたが、実際に施設が災害に直面した場合、厨房に使用可能な食材がある場合はその食材から使用し、食料を確保することも大切だと思われます。ライフラインの復旧が三日以上掛かる甚大な災害が起こることも想定してマニュアルを作成しておけば、柔軟な対応を取れるからです。

食料の確保以外にも、法人共通の災害時の防災マニュアルが幹部会で作成されました。そのマニュアルでは、I.L.伯太は法人の南大阪工リア施設の情報の基点となっています。災害時に広域に亘つて通信が困難になつた場合に備えて、昨

今後、火災や地震等、幅広く状況を想定した訓練が必要です。

繰り返し訓練を行い、改善策を

検討しあらゆる災害に対するマニュアル作成に取り組んでいきます。

年より発信時のみですが災害時優先ダイヤルに登録して電話連絡が取れるように備えています。災害時に備えて今出来る事を確実に対策していく事が大切だと考えています。

橋本 進

災害時の地域との連携

今池平和寮

今池平和寮では年に一度、町会の方と西成消防署の方に協力して頂き、夜間想定の地域合同防災訓練を実施しています。火災が起つた際、避難誘導を迅速かつ安全に行うために、地域住民と『災害支援活動に関する申合せ書』を締結し、地域住民の方にご協力頂いています。

地域合同の訓練は普段の避難訓練とは違い、消防署員に訓練の様子を見て頂きます。実際に職員が屋内消火栓の実射を行い、利用者は施設の外へ出て町会の方に誘導を手伝つてもらひながら、実際の避難しながら地域避難所まで避難します。また、訓練の最後に消防署員の講評を頂きます。

一方、地域主催でも津波想定の避難訓練を行うなど、東日本大震災の記憶が新しい今、周りの災害意識も高まつてきています。



そのせいか、利用者もいつにもまして真剣な面持ちで聞いておられます。普段の避難訓練では、ベランダへ避難している事もしばしばあります。やはり、スペシャリストを目の前にすると、皆さん意識も違います。嬉しいような…悲しいような…ですが、どりあえず結果良しとします。

谷口 幸輝

◆救護施設 平和寮

**岡本さん 瑞宝双光章受賞
おめでとうございます**

救護施設・平和寮で四十五年の長きに渡り、利用者の医療ケアに携わつて来られた岡本厚

子さんが、瑞宝双光章をめでたく受賞されました。

◆救護施設 平和
岡本さん 瑞宝双光章
おめでとうござい

私にとりましては看護の道の大先輩であり、平和寮の業務におきましても学ぶべきことが多く、我が指針になる方です。今のように福祉制度が整っていない時代から、利用者の健康管理をすると言うことは、並大抵の事ではなく、常に努力と苦労の連続であつたと思ひます。そして四十五年という歳月を、この平和寮と共に過ごされたことも、瑞宝双光章にまさしく値するものだと思ひます。

時折、平和寮の昔話を聞かせて頂くと、今までの岡本さんの仕事の重みに触れる気がします。そして岡本さんの利用者に対するお姿は、常に母のような親切であり、利用者の「岡本看護師さん」という呼びかけには、本当に長きに信頼を寄せて來たという響きが感じられます。

今も現役で日々業務をして下さり、私はどんなに助けられていることでしょう。本当に感謝しています。岡本さん、この度は瑞宝双光章おめでとうございました。

盲児平和寮では毎年十一月下旬、オリムピア製菓の方よりたくさんのチョコレートをご寄付頂いています。子ども達全員でも食べきれない程たくさん頂くので、毎年楽しみにしています。

そして、チョコレートを頂くだけではなく、子ども達が毎年楽しみにしている事がもう一つあります。十一月下旬、クリスマスには少し早いですが、サンタクロースがやつてくる事です。オリムピア製菓の方がサンタクロースに扮装をして、チョコレートを子ども一人一人に配つてくださるので、チョコレートを頂くと笑顔になり、大喜びします。



◆太伯伯

クリスマス イルミネーション

I.L.伯太では、クリスマスイルミネーションを行なっています。今回で三シーズン目になりました。十二月から施設全体を彩り始め、本来はクリスマスまでですが、一月の初旬まで実施しています。

道路沿いのフエンスを彩る「ナイアガラ」は、一昨年新たに購入したものです。滝のように上から下へと点滅し、道行く人にも楽しんでもらつていると思います。昨年は、フエンスの

トナ
に、今年は、小学一年生二
端から端までつなげるべ
く、さらに数を増やしま
した。



今年は、小学一年生二
支援学校の子ども七名

毎年増えて行くクリスマスイルミネーションに、取り付けや片付けの負担も増えて行きますが、また今年も新たなクリスマスイルミネーションが加わっていることと想います。

丸山
剛史

丸山
剛史

昨年の四月には四人の子どもたちと新年度をスタートしましたが、子どもたちの笑顔とともに、十二月には十二人に増え登園して来る子どもたちで賑やかになります。

そして今、卒園式を終え、たんぽぽ園を巣立つ子どもたちのそれぞれの顔に思いを馳せていました。しかし、別れは出会いの始まりでもあります。子どもたちの新しい旅立ちに笑顔でエールをおくりたいと思います。

さて、四月から、児童デイサービスが児童福祉法のサービスに再編され、指定児童発達支援事業に移行し、また、新設された就学児童に対する指定放課後等デイサービスも手探りではあります。ですが、始まりました。指定児童発達支援事業所に移行しても今までのサービス内容を保ちながら、むしろサービスの向上としてそれぞれの事業における定員を一五名、送迎サービスの充実を目指しているところです。

今後とも、職員の強く高い志とそれに見合うエネルギーをもつて子どもたちひとりひとりの特性を大切にして、子どもたちが安心して過ごすことが出来る場所、そして、子どもたちへの支援を力の限り行う、そのようなたんぽぽ園であり、職員でありたいと思っています。

◆阪南市立たんぽぽ園

新年度を迎えて

昨年の四月には四人の子どもたちと新年度をスタートしました

A small, simple illustration of a bird perched on a branch. Next to the bird is a white coffee cup with a smiling face, also resting on the branch. The background is a textured grey.

当事業所の活動内容は、月々金の各曜日ごと芸・陶芸・七宝焼き・レザークラフト等があります。

普段は教室を開き、お弟子さんをかかえられることの多い吉田先生。この日は、吉田先生の娘さんと一緒に、お弟子さんたちが手作りした絵本や工作品を展示する会を開いていました。

音楽療法士・作業療法士(OT)・言語聴覚士(ST)による個別リハビリテーション・集団レクリエーションも行います。頭脳・身体・手指・足等を使い、各セラピストの手作

りでダンボール・布・画用紙と手近な材料を使って、だるま落し・福笑い・鬼退治・力合戦など季節感も盛り込み、色彩も楽しめる力作でゲームを実施していただけております。

思います。 ◇阪南市立
新年度
そして今、卒園式を終え、たんぽぽ園を卒立つ子どもたちのそれぞれの顔に思いを馳せてています。しかし、別れは出会いの始まりでもあります。子どもたちの新しい旅立ちに笑顔でエールをおくりたいと

訓練をしながら順位を競つたり、稀に勝利者には一杯四十円のコーヒー券を贈呈することで、飽きのこないよう工夫しております。これを楽しみにリハビリに力が入る利用者さんもおられ、回を重ねることに参加者も増え部屋も狭く感じられるほどです。

A black and white photograph showing a group of people, mostly children, gathered around a large round table. The table is covered with numerous small containers, boxes, and what appears to be craft supplies or materials for a science experiment. One person on the left is holding a small white bowl. Another person on the right is looking down at the table. The background shows shelves and more equipment, suggesting a workshop or laboratory setting.

さて、四月から、児童デイサービスが児童福祉法のサービスに再編され、指定児童発達支援事業に移行する。新設される「児童発達支援事業」

業は移行しました。新設された就学児童に対する指定放課後等デイサービスも手探りではあります、始まりました。指定児童発達支援事業所に移行しても今までのサービス内容を保ちながら、むしろサービスの向上としてそれぞれの事業における定員を一五名、送迎サービスの開始等、当園としてもサービスの充実を目指しているところです。

今後とも、職員の強く高い志とそれに見合うエネルギーをもつて子どもたちへの支援を心がけていく所存です。子ども



私達人間の生活が便利になっていくのと反比例するよう、地球が悲鳴をあげています。そこで最近よく言わられるのが『エコロジー』や『エコ』と言う言葉。私たちの未来の為、大切な自然を守る為、私達に今出来るることはなんだろう。この言葉にはそんな地球への深い愛情が託されています。

そんな中、当施設で平成二十一年から始めた『プルトップ』『ペットボトルキヤップ』の収集活動。以前叡知恵四十五号で初めて取組を紹介させて頂き、三年経つた

◆今池平和寮 人と人との結ぶ絆 (エコ活動報告)

(工コ活動報告)

動をおこなつてることを知つて下さり、賛同して下さる方々が増え、そのことがなによりも嬉しく、ありがとうございます。今現在の活動報告といたしまして、集めたブルトッップ約ドラム缶一個分は、環公害防止連絡協議会へ。又、ペットボトルキヤツプ約衣装ケース二つ分は、職員の知り合いの東大阪の作業所にお渡しし、そちらの作業所で集めている分と合算し、活用して頂いています。人から人へのつながりはやがて絆となり、大きな力となります。

今池は人から人へのつながりでエコの輪を広げています。これからもひとりひとりがエコ意識をもち、日常生活を送りたいで

動をおこなつてることを知つて下さり、賛同して下さる方々が増え、そのことがなによりも嬉しく、ありがとうございます。

今現在の活動報告といたしまして、集めたプルトップ約ドラム缶一個分は、環公害防止連絡協議会へ。又、ペットボトルキヤツプ約衣装ケース二つ分は、職員の知り合いの東大阪の作業所にお渡しし、そちらの作業所で集めている分と合算し、活用して頂いています。人から人へのつながりはやがて絆となり、大きな力となります。

今池は人から人へのつながりでエコの輪を広げています。これからもひとりひとりがエコ意識をもち、日常生活を送りたいです。

子ともたぢへの支援を力の限り行う。そのようなたんぽぽ園であり、職員でありたいと思っています。

施設内で行われていた収集活動は、当施設から自立された方へとつながり、今は地域の方にもご協力頂いています。エコ活

を広げています。これからもひとりひとりがエコ意識をもち、日常生活を送りたいです。



◆じよいふるはかた

秋の旅行



伯太ホームスマイルと、太平ホームが「じよいふるはかた」となって初めて初めの日帰り旅行を十月二十一日に催行しました。今まで、両ホームとも利用者様だけの旅行でしたが、「じよいふるはかた」となりご家族様にも参加して頂き、親睦を深めて頂こうということになりました。

行き先は、「神戸湾ルミナスクルーズと海遊館・マーケットプレイス」です。

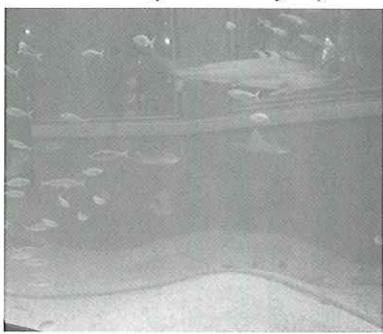
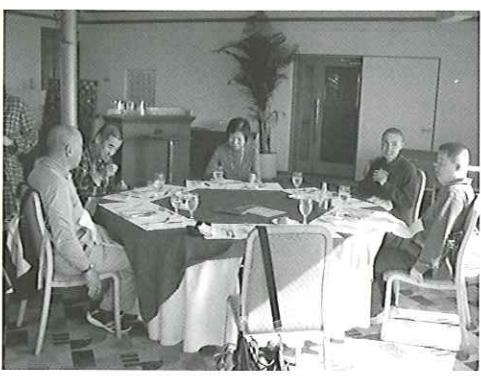
団体旅行ではあります

が、それぞれが満足いただけるようにと、ルミナスでのランチは、魚コース、肉コース、スペシャルコース等お好きなコースを選んでいただき、午後からは、海遊館を見るもよし、マーケットプレイスで買い物を楽しむもよしと、選択できるようにしました。

皆さん、旅行をとても楽しみにされていて、ホームでは、ランチのメニューはどれにしよう、着ていく服は…など、話題が尽きなかつたようです。当日は、クルージングと海を見ながらの食事や買い物等を満喫されました。皆さん、来年も元気で旅行に参加することを楽しみに、それぞれ帰路につかれました。

皆さんの笑顔を見ながら、「このホームでよかったです。」と、満足していただけた支援ができればとあらためて思いました。

佐藤 ゆかり



◆ぶるうむ此花

日帰り旅行



ぶるうむ此花では、平成二十三年十二月十六日に、日帰り旅行で、神戸空港と須磨水族園へ行ってきました。

当日は、普段の登所時間よりも早い集合時間にもかかわらず、遅刻される利用者さんもおられず、楽しみにして頂けていたようでした。

神戸空港では、ANA飛行機が止まっているのが見えると、「飛行機だ！」と嬉しそうにされている利用者さんや、そんなことには見向きもせずに、お土産の見定めへ走る利用者さんもおり、各々に空港での時間を過ごされていました。

その後は、シーパルへ移動し昼食をとりました。食事でもあつという間に食べられる方もいれば、ゆっくり味わい食べる方、お喋りに夢中になる方、事業所の食堂とは違う雰囲気が新鮮でした。

次は、皆様が楽しみにされている須磨水族園です。各班に分かれて、一時間半もの自由時間があったのですが、あちらこちらと見学していると、いつの間にか集合時間になっていました。

「イルカショーは見られたけど、もう少し時間があれば、別の所も見られたのに」と名残惜しそうに話してくださる利用者さんとのバス車内での会話が印象的でした。次の旅行でも、また新たな思い出を作りたいと思います。

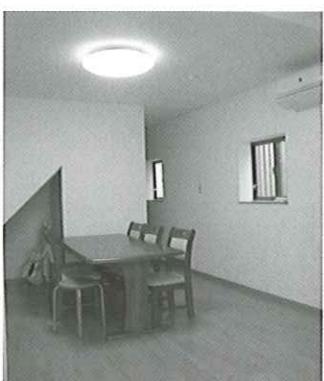
千丈 薫



◆各駅停車

新しいお家始めます (ケアホーム シエロ)

『ケアホーム・アテナ』では、阿倍野区内に現在八ヶ所(男性六ヶ所、女性二ヶ所)あり、一戸建てやマンションを借りて運営しています。そしてこの四月には『シエロ』という男性ケアホームが一軒追加され、九ヶ所になりました。『シエロ』は重度の障がいのある方が利用できるように、一階建ての民家を改装し夜間支援員を配置しています。



このご時世、施設は作らない・増やさないという行政側の考えもあるなか、施設利用待機者がいるのが現状です。まだまだケアホーム施策に関する問題はたくさんありますが、ケアホームの利用者さんが安心して生活が営めるようになります。施設入所者は自然に地域移行へと進むのではないかと思います。ただ中には施設を必要とする人もいます。

ケアホームも施設も選ぶのは当事者の方であり、選んでもらえるような魅力づくりや広報活動、そして常にサービスの質を向上していく必要があります。

四月は職員にとって新しい業務の始まりであり、利用者さんにとって新しい生活の始まりとなる訳ですから、何かと嬉しい日々が続くかと思います。

利用者さん、職員ともに笑顔があふれる、そんな素敵なおームづくりに努めていきたいと思います。

森 伸二

◆太平

活動内容の充実

そこで、地域移行の具体化を進めるべく、地域移行担当のスタッフが動き始めました。まずは『地域移行に関する研修会』を開催。地域での生活とはどのようなものなのか、家族さんに知つてもらうところからスタートです。

自立支援法に二十三年四月から移行となりもう一年が経ちました。



私は生活介護の十ある作業の中のD班を担当しており現在十六名の利用者さんが活動に取り組まれています。

活動内容は美術や工作(紙すき)を中心にして、運動やレクリエーションを行っています。

紙すきでハガキやしおりを作成しバザーに向けてアイデアを出し合っています。

増えました。

活動はまだ試行錯誤の段階ですが、だんだんD班としての色が出始めてきて楽しみになつてき

アテナ平和が開所して、早四年が過ぎました。当初より、『終の棲家にしない』という目標を掲げてきましたが、地域移行を積極的にすすめていくことはできなしままでした。

また、開所当初から入所されている方や、施設から施設へ移行してこられた方が多いため、地域移行と言つてもピンとこない方、施設との違いがよく分からぬ、施設の方が安心とおつしやる家族さんもおられました。

そこで、地域移行の具体化を進めるべく、地域移行担当のスタッフが動き始めました。まずは『地域移行に関する研修会』を開催。地域での生活とはどのようなものなのか、家族さんに知つてもらうところからスタートです。

まだまだ計画的な地域移行のかたちは模索中ですが、利用者さんにも、家族さんにも安心感を持つて地域で生活して頂けるよう、取り組み続けていきたいと思います。

北尾 千晶

美術活動では張り子を使つた作品を作成し、和泉市のきらめき障害者作品展に出品しています。

作業開始当初は、職員も利用者

さんも戸惑いながらのスタートでした。が現在は、作業の内容も充実し、利用者さんも作業活動を楽しみに思つてくれているようで、自ら活動場所へ移動される方が増えました。

◆太平

ご冥福をお祈り致します

先日お亡くなりになりました職員門脇祥子さんのご冥福をお祈りし、ここにお父様のしたためられた文章を掲載させて頂きます。

『周囲まで元気にしてくれる、祥子の笑顔は決して色褪せません。』

最期まで、皆のために心尽くしてくれた祥子。

面倒見が良く、多くの人から慕われ、家族へ多くの優しさを見せてくれました。そんな祥子を偲ぶと、在りし日の姿が蘇ります。

好きだった盆踊りに参加するために、毎夏職場の勤務表とやらめっこしていたこと・・・。趣味の陶芸に、熱心に取り組んでいたこと・・・。毎年訪れていた沖縄では、いつも地元の民家にホームステイしていましたと聞きます。

その土地の方々と、楽しく交流を深める様子が、今もはつきりと目に浮かぶようです。

平成二十四年二月九日、長女門脇祥子は永い眠りにつきました。

いつか家族で沖縄に行きたかった。その思いは叶いませんでしたが、輝く太陽、爽やかな風、澄み切った海に、祥子の面影を感じることでしょう。

『さつちゃん。毎日、めいっぱい頑張ったね。これからは何も心配せずに、安らかに楽しく過ごしてください。』

生前多くのご厚情を賜りました皆様へ、深く感謝を申しあげます。

今後とも今までと変わりなきご厚誼を賜りますよう、宜しくお願い申しあげます。

略儀ながら書状にてお礼申し上げます。

お世話になつた皆様へ「ありがとう」の想いに満ちて

門脇 三郎

日本財团助成金による
事業完了のお知らせ

この度、日本財團様より助成金の交付を受け、左記の事業を完了いたしました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、日本財團様ならびに、御協力を賜りました関係各位に謹んで感謝の意を表します。

事業完了年月日

事業名

介護支援車の整備

事業費総額

百九十三万八千三百二十二円

助成金額

百四十万円

施設名・所在地

障害者支援施設Ⅰ・Ⅱ・伯太

和泉市伯太町三丁目十三番五十七号

完了年月日

平成二十四年三月十六日

事業名	介護支援車の整備	事業費総額	助成金額	施設名・所在地	盲児施設 平和寮	事業名	介護支援車の整備	事業費総額	助成金額	施設名・所在地	盲児施設 平和寮
送迎車(普通車)の整備	一百三万三百五十三円	百四十万円	百四十万円	和泉市伯太町三丁目十三番六十八号	大阪市阿倍野区阪南町三丁目二十七番地二号	障害者支援施設 太平	介護支援車の整備	二百三万三千五百三十三円	百四十万円	和泉市伯太町三丁目十三番五十七号	大阪市阿倍野区阪南町三丁目二十七番地二号
完了年月日	平成二十四年三月十六日	完了年月日	平成二十四年三月十六日	完了年月日	平成二十四年三月九日	完了年月日	完了年月日	完了年月日	完了年月日	完了年月日	完了年月日

事業名	介護支援車の整備	事業費総額	助成金額	施設名・所在地	盲児施設 平和寮	事業名	介護支援車の整備	事業費総額	助成金額	施設名・所在地	盲児施設 平和寮
障害者支援施設Ⅰ・Ⅱ・伯太	一百三万三百五十三円	百四十万円	百四十万円	和泉市伯太町三丁目十三番六十八号	大阪市阿倍野区阪南町三丁目二十七番地二号	障害者支援施設 太平	介護支援車の整備	二百三万三千五百三十三円	百四十万円	和泉市伯太町三丁目十三番五十七号	大阪市阿倍野区阪南町三丁目二十七番地二号
完了年月日	平成二十四年三月十六日	完了年月日	平成二十四年三月十六日	完了年月日	平成二十四年三月九日	完了年月日	完了年月日	完了年月日	完了年月日	完了年月日	完了年月日

完了年月日 平成二十四年三月十五日

施設名・所在地 生活介護事業所 ぶるうむ此花

大阪市此花区島屋三丁目三十二

日本ヘレンケラー財團

理事長 西川 佳夫

法人の四つの柱「理念」

理事長 西川 佳夫

法人の四つの柱[理念]

私たち三年前、施設内における不適切な支援をマスコミ等を通じ、大きく指摘されました。そのことを決して風化させることなく、利用者の方にとつて百パーセント満足いただけような支援を心掛けてきました。それらのことから教訓として、法人は次の四つの理念を掲げています。

『人間としての尊厳』
障がいの程度の重軽を問わず、一人の人間として尊重し、その尊厳を未来永劫守らなければなりません。

『自己決定の尊重』

職員が一方的に自己の目標、行動基準、道義等を利用者の方に押しつけ支援をするのではなく、利用者自身の権利に目覚め、自らの意志や責任において決定できるよう側面から支援していくかねばなりません

『社会の一員としての自覚』
施設の中で生活していながら、社会の一員としての自覚、社会からの恩恵を受けるだけではなく、社会に還元していく姿勢を育んでいかねばなりません。

『生き甲斐・働き甲斐をもてる生活』

施設は家庭の代替機能であるならば、利用者の方にとつて、そこはアットホームな居心地の良い場所でなければなりません。そこが通過施設であろうと、『終の棲家』にならうと、一日一日が充実した人生でなければなりません。また、通所等の就労活動をしている事業所においては、そこで働く方の工賃を少しでも多く支払うことが出来るような工夫や努力を怠ることなく、更に利用者の方にとつて、生き甲斐・働きがないが持てる職場(事業所)にとかねばなりません。

『職員行動指針』

◎私たちは利用者の方の人権を最優先に考え、自己研鑽(スキルアップ)に励み、満足度百パーセントの支援を目指します。
◎私たちは常に向上心をもち、利用者の方の立場に立つて支援します。

◎私たちは福祉のプロとして自覚し、プライドと責任を持つて支援にあたります。

◎私たちは地域や行政に積極的に提言・実践を行い、地域福祉の向上に努めます。

最後に、悲しいお知らせがあります。二月九日、障害者支援施設 太平の支援員である門脇祥子様が急逝されました。奉職されて約十九年のベテラン職員であり、残念なりません。この場を借りて、ご冥福をお祈り申し上げます（合掌）。

リアアップの道筋を示すことも大切なことであり、また働き甲斐の持てる職場環境の整備、優秀な人材を育成していくことも、これから大きな課題と考えます。

一方、安定的な財務基盤の確立のため、福祉とは言え、適切な収益確保に努力し、計画的かつ効果的な事業運営をしていかねばなりません。

この度、大阪府共同募金会より助成金の交付を受け、左記の事業を完了いたしました。ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、大阪府共同募金会ならびに、ご協力を賜りました関係各位に謹んで感謝の意を表します。

・事業名

プレイルーム窓工事及び
医務室パネル工事

・事業費総額

六十四万三千百三重円

・助成金額

四十九万六千円

・施設名

盲児施設 平和寮

・施設所在地

大阪市阿倍野区阪南町三丁目
二十七番地二号

・完了年月日

平成二十四年三月三十一日

・社会福祉法人

日本ヘレンケラー財団

理事長 西川 佳夫

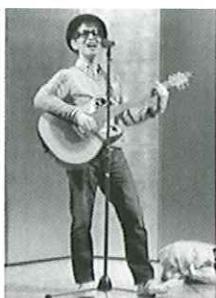
大阪府共同募金会助成金による事業完了のお知らせ

法人本部 ニュース

平成二十三年度

法人職員研修会の報告

去る二月十日(金)に、平成二十三年度法人職員合同研修会が、中央区にありますシティプラザ大阪にて開催されました。前号でも掲載いたしましたが、六年間盲児施設平和寮で過ごされ、現在横浜の視覚支援学校で理療課程の先生をされている栗山龍太氏が、今回特別講師として来ていただきました。



講演では、全盲といふハンド感覚さ

法人人事報告

管理職異動（旧在籍施設）

ぶるうむ此花

・鐘ヶ江康郎（救護 平和寮）

【今池平和寮】

・永野 信夫（今池平和寮）

【救護施設 平和寮】

・谷中 陽一（福祉型障害児入所施設 平和寮）

・仲 香苗（ぶるうむ此花）

【福祉型障害児入所施設 平和寮】

・佐藤 智子（救護 平和寮）

【障害者支援施設 IL伯太】

・大山 政宏（障害児 平和寮）

【障害者支援施設 IL伯太】

・小橋 武野（太平）

・高田 愛子（アテナ平和）

【ぶるうむ此花】

・西田 岳峰（アテナ平和）

【今池平和寮】

・南 洋一郎（IL伯太）

【障害者支援施設 アテナ平和】

・丸山 剛史（IL伯太）

【地域生活支援センター】

・亀井 伸幸（太平）

【新任職員（配属施設）】

・二羽 和典（太平）

・松浦 絹枝（太平）

・大内 慎吾（太平）

・友成 百合（太平）

・玉那覇 盛勇（太平）

・藤原 真倫美（IL伯太）

・岩井 博美（IL伯太）

・富田 賢二（IL伯太）

・藤井 崇宏（IL伯太）

・西口 智弥（IL伯太）

・松本 圭樹（IL伯太）

・鈴木 友也（アテナ平和）

・吉田 佳の美（アテナ平和）

・大西 健（さつき園）

・藤島 沙季（救護 平和寮）

・廣田 ともみ（各駅停車）

・松中 広大（各駅停車）

・野間口 裕人（今池平和寮）

主任及び一般職員（旧在籍施設）

・救護施設 平和寮

・山千代 瑞穂（IL伯太）

【福祉型障害児入所施設 平和寮】

・島村 俊介（アテナ平和）

【障害者支援施設 平和寮】

・船渡 智子（救護 平和寮）

【障害者支援施設 IL伯太】

・大山 政宏（障害児 平和寮）

【障害者支援施設 IL伯太】

・小橋 武野（太平）

・西田 岳峰（アテナ平和）

【今池平和寮】

・南 洋一郎（IL伯太）

【障害者支援施設 アテナ平和】

・丸山 剛史（IL伯太）

【地域生活支援センター】

・亀井 伸幸（太平）

【新任職員（配属施設）】

・二羽 和典（太平）

・松浦 絹枝（太平）

・大内 慎吾（太平）

・友成 百合（太平）

・玉那覇 盛勇（太平）

・藤原 真倫美（IL伯太）

・岩井 博美（IL伯太）

・富田 賢二（IL伯太）

・藤井 崇宏（IL伯太）

・西口 智弥（IL伯太）

・松本 圭樹（IL伯太）

・鈴木 友也（アテナ平和）

・吉田 佳の美（アテナ平和）

・大西 健（さつき園）

・藤島 沙季（救護 平和寮）

・廣田 ともみ（各駅停車）

・施設名・所在地	・事業名	・事業費総額	・助成金額	・施設名・所在地	・事業名	・事業費総額	・助成金額
多機能型事業所 さつき園	介護支援車の整備	百二十七万八百円	百十八万二百円	大阪市阿倍野区昭和町三丁目四番二十七号	・完了年月日	百二十一万四千六百円	百十二万四千円
大阪府阪南市鳥取中九一				平成二十四年三月二十六日			
・完了年月日							
平成二十四年三月二十七日							

大阪府遊技業協同組合による
福祉車両贈呈事業完了のお知らせ

この度、大阪府遊技業協同組合様より福祉車両の贈呈を受け、左記の事業を完了いたしました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、大阪府遊技業協同組合様ならびに、御協力を賜りました関係各位に謹んで感謝の意を表します。

主な贈呈車両
・福祉車両の贈呈(軽自動車)

・事業費総額

・助成金額

・施設名・所在地

・事業名

・事業費総額

・助成金額

寄付・寄贈

ご寄付・ご寄贈
感謝申し上げます

平成二十三年九月～二十四年二月

末までの各施設の寄付・寄贈です。

法人本部

十二月 太平 いづみ会様

一月 明るい社会づくり運動

ナニワ6フオーラムネット様

救護施設平和寮

十月 奉木 澄男様

オリムピア製菓

十一月 三河屋荒物店様

阿倍野区民生委員協議会様

今本様

前田 啓子様

二月 東京都葛飾福利工場八潮センター様

防災用品一ヶース

三好 ふみえ様 前田 辰也様

川内 勉様

西村 洋様

畠谷明彦様

オリムピア製菓
チヨコレート詰め合わせ

十四万円
十万円

一万円

学長 津村 春英様
岡井様

塚腰 恵美子様
中前 博貴様 大西 周平様
井上 栄様 菊田 宗一郎様
井上 和美様 正田 秀之様
堀 茗夏様 竹本鍼灸接骨院様
川下 正子様
京セラミタ株式会社様

五万円
三万円
二万円
一万円
五千円

岡井 節様 石田 行司様
匿名

中村千草様 長机一 パイプ椅子三脚
尾崎スミミング様 テレビ一台
きんかん合計約四十キロ

中村 千草様

尾崎スミミング様

テレビ一台

尾崎スミミング様

テレビ一台

あべのグリーンカレッジ様
大阪市中央卸売市場本場内
みかん一ヶース
掃除機

太平

五万円

十
月

十一
月

十二
月

二
月

三
月

四
月

五
月

六
月

七
月

八
月

九
月

十
月

十一
月

十二
月

一
月

二
月

三
月

四
月

五
月

六
月

七
月

八
月

九
月

十
月

十一
月

十二
月

一
月

二
月

三
月

四
月

五
月

十
月

十一
月

十二
月

一
月

二
月

三
月

四
月

五
月

六
月

七
月

八
月

九
月

十
月

十一
月

十二
月

一
月

二
月

三
月

四
月

五
月

六
月

七
月

八
月

九
月

十
月

十一
月

十二
月

一
月

二
月

三
月

四
月

十
月

十一
月

十二
月

一
月

二
月

三
月

四
月

五
月

六
月

七
月

八
月

九
月

十
月

十一
月

十二
月

一
月

二
月

三
月

四
月

五
月

六
月

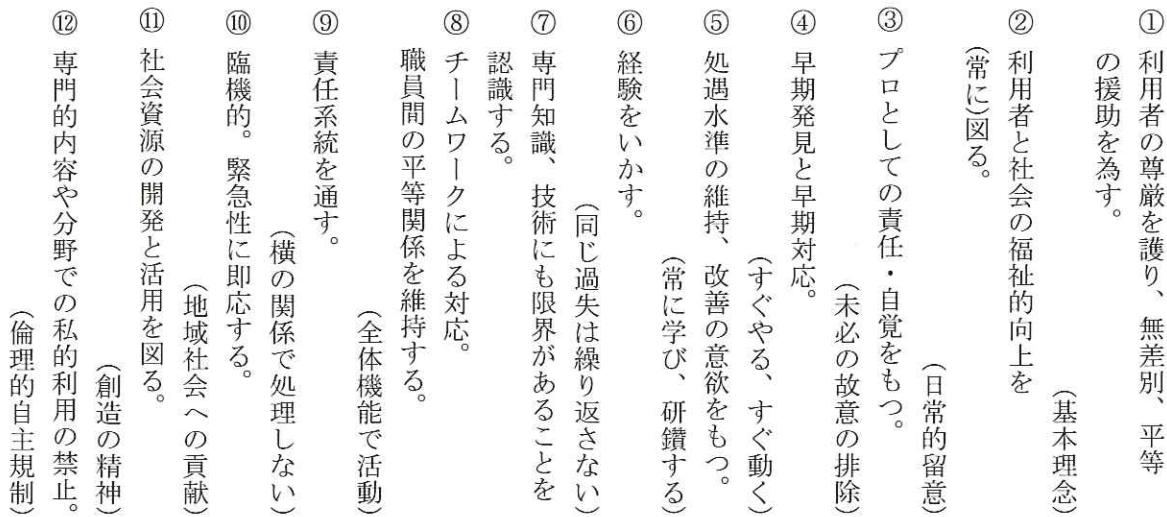
七
月

八
月

九
月

十
月

**社会福祉法人 日本ヘレンケラー財団
「叡知恵」の倫理的自主管理理念**



名 称	種 別	所在地	電 話
法人本部	事務局	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 3-4-27	06-6628-2229
平和寮	救護施設	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 3-4-27	06-6628-6151
平和寮	福祉型障害児入所施設	〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町 3-27-2	06-6621-4583
太平	障害者支援施設	〒594-0023 和泉市伯太町 3-13-68	0725-45-2760
太平診療所	診療所	〒594-0023 和泉市伯太町 3-13-68	0725-43-9066
ぶるうむ此花	生活介護事業所	〒554-0024 大阪市此花区島屋 3-2-32	06-6468-7898
今池平和寮	救護施設	〒557-0003 大阪市西成区天下茶屋北 1-4-6	06-6633-3161
I L 伯太	障害者支援施設	〒594-0023 和泉市伯太町 3-13-57	0725-41-8191
さつき園	多機能型事業所	〒599-0211 阪南市鳥取中 9-1	072-471-6868
まつのき園	地域活動支援センター I 型	〒599-0211 阪南市鳥取中 9-1	072-471-6863
アテナ平和	障害者支援施設	〒545-0003 大阪市阿倍野区美章園 3-7-2	06-6629-2062
阪南市立 たんぽぽ園	多機能型事業所	〒599-0203 阪南市黒田 468-1	072-473-2816
各駅停車	地域生活支援センター	〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町 3-35-2	06-6629-7778
じよいふるはかた	地域生活支援センター	〒594-0023 和泉市伯太町 1-12-50	0725-58-7512
わかば	阿倍野区障害者相談支援センター	〒545-0003 大阪市阿倍野区美章園 3-2-12	06-6621-80012

編集後記

桜が咲き春爛漫の季節となりました。今回の表紙は救護施設平和寮の岡本看護師が瑞宝双光章を受賞された時のものです。本部のページに詳しい内容を掲載しています。今後も職員の一人ひとりが叡知恵の理念に基づき、頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

編集委員長 村井 康彦

編集委員 濱原 賢次 (救護施設平和寮)
 佐々木 俊宏 (平和寮)
 山本 悠美子 (アテナ平和)
 島崎 茜 (太平)
 岩田 憲治 (ぶるうむ此花)
 中西 博美 (今池平和寮)
 橋本 進・南 洋一郎 (I L 伯太)
 西川 佳孝・山本 ひろみ (さつき園・まつのき園)
 山本 悠美子 (各駅停車)